

紀宝町の

# 文化財

No.1



史跡

国指定文化財

(指定：平成14年12月19日)

くまのさんけいみち

## 熊野参詣道

くまのがわ

## 熊野川

熊野本宮大社から熊野速玉大社に至る川の参詣道



世界遺産

## 熊野川

野川は、紀伊山地の北部、山上ヶ岳と大普賢岳の間に水源を發し、大小の支流を集めて十津川溪谷を南流、大台ヶ原を水源とする瀨峡で有名な北山川と熊野川町宮井で合流したあと熊野灘に注ぐ。

清澄な流水とともに、奇岩や樹林に彩られた兩岸が河口近くまで連続していて、その景観の素晴らしさは昔から天下に知られた川である。

紀宝町では、深淵から鐘の響きが聞こえてきそうな浅里の釣鐘淵、ススキやサツキマスが遊ぶ瀬原の流れ、悠久の静けさに満ちた北松杖の苞苴の淵などがある。

史跡として熊野川は、熊野本宮大社から熊野速玉大社に至る川の参詣道として位置づけられ、両宮を結ぶ船が往復していた。『一遍上人絵伝』には、小船に船差2人と熊野参詣者6人を乗せ、川を下る様子が描かれる。

平安末期の公卿藤原宗忠の日記『中右記』には、熊野参詣を行った折、本宮から新宮まで4、5人乗りの借舟7艘で4時間にわたり競漕したとしており、宗忠一行は帰路も熊野川を逆行している。

釣鐘淵下流の早い瀬が対岸の岸壁に当たって、浅里の里を囲むように大きく蛇行した後、ゆったりした流れとなったその先の川中に昼嶋(晝嶋)がある。昼嶋は文字通り参詣途中に昼食休憩をとった場所とされている。

(文：町教育委員会発行「紀宝町の文化財」より)

## コーナー

### 新コーナー始めました!!

みなさんお気づきかもしれませんが、ひとりことの上にある「珍百景」や「今昔物語」のコーナーで、「紀宝町の文化財」を紹介する新コーナーを始めました。

町内には、長い歴史の中で受け継がれてきた貴重な文化財が数多く残されています。身近にありませんが、意外と知られていないものも多いのではないのでしょうか。このコーナーを通して、地域の魅力や先人たちの歩みに触れ、改めて紀宝町への親しみを深めていただければ幸いです。

なお、「珍百景」や「今昔物語」がネタ切れで終了したわけではありません(汗)。これまでどおり、みなさんからの「こんなのあるよ!」という情報提供を担当者一同、首を長くしてお待ちしています。

(担当のアンテナ、感度は良好 田中 健太郎)

### ウミガメ公園新プロジェクト!

6月から道の駅ウミガメ公園でクラウドファンディングが始まっています!

内容は今後もウミガメの保護啓発活動を行うためのものとなっています。当初の目標は達成したとのことですが、引き続き支援を受け付けていますので、みなさんのご協力をお願いします。なお、ウミガメ公園では、多くの種類のカメを間近で見ることが出来ます。まだ訪れたことのない方や、長らく訪れていない方は、ぜひ一度お立ち寄りください。

また、役場企画調整課ではウミガメ保護活動を行っています。ウミガメパトロールや小中学生対象のウミガメ学習会などを開催していますので、ご興味のある方は、ホームページをご覧ください。ご興味のある方は、お問い合わせください。

(自宅にカメラがある 曾越 大成)

